

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 6年 12月 16日

事業所名：放課後サポートクラブえがお

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	6		法令を遵守し、基準以上のスペースを設けています。小学生・中高生の部屋を分けるなどの工夫をしています。	
	② 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	6		国で定められている基準より多い人数の職員配置をしています。	
	③ 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	6		玄関ポーチ、玄関、ホール、トイレに手すりを備え付け、床も段差が少なくバリアフリー化されています。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか	6		毎日、スタッフによる清掃を行っています。小学生・中高生の部屋を分けることで、活動しやすい空間づくりを工夫しています。	
	⑤ 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	6		クールダウンや体調不良時は個室にて対応しています。	
業務改善	⑥ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6		毎日のミーティングで振り返りを行い、改善点について話し合いをしています。	
	⑦ 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	6		保護者の評価を受けて、スタッフ間で協議し業務改善を行い、サービスの質の向上に繋がっています。	
	⑧ 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	6		定期的に面談を行っています。職員からの意見を基に業務改善について話し合い、働きやすい環境づくりを行っています。	
	⑨ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		6	現在、外部評価は行っていません。	
	⑩ 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	6		定期的に所内研修を行っています。また、外部研修に参加したスタッフが、研修後に事業所内にて報告することで内容を共有しています。	
適切な支援の提供	⑪ 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページ等での公表は、現在作成中ですが、保護者の方には利用された日にメールにて、その日の支援内容と様子をお知らせしています。	
	⑫ 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		6カ月に1回アセスメントを行い、児童や保護者の方のニーズに変更がある時は、期間に関係なく個別支援計画に反映し作成しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
⑬	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		児童発達支援管理責任者が作成した個別支援計画書（原案）の会議を行い、全スタッフが意見を出し合いながら作成することで共通理解したうえで個別支援計画作成しています。	参加できるよう調整していきます。
⑭	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		児童発達支援管理責任者が作成した個別支援計画書（原案）の会議にて職員間で個別支援計画の内容を共有し、作成された個別支援計画に沿った支援を行っています。	
⑮	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	6		6カ月に一回見直しを行っています。児童の状況によって見直しの必要があると感じた時は、保護者の方や学校の先生と情報共有した上でその都度計画の見直しを行っています。	
⑯	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6		児童と保護者の方の意向を個別に面談にて伺ったうえで、5領域に沿った支援を具体的な支援内容にて作成しています。	
⑰	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		職員全員で活動プログラムを立案しています。	
⑱	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		活動プログラムが固定化しないよう、SST、コグトレ、製作活動、運動等の様々なプログラムを取り入れています。	
⑲	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか	6		個別支援では、児童それぞれの課題に取り組み、集団活動では、コミュニケーションなどを踏まえた個別支援計画を作成しています。	
⑳	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	6		ミーティングの中で、その日のプログラム内容の確認と、職員の役割について確認しています。	
㉑	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		翌日に前日の振り返りを行っています。児童の様子や保護者、学校からの情報等についても共有し記録しています。	
㉒	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		日々の振り返りの中で支援記録に記録し、都度支援を検証しています。	
㉓	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		アセスメントを6カ月に1回行い、児童の状況に合わせて見直しの必要があると感じた時は、その都度計画の見直しを行っています。	
㉔	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6		放課後等デイサービスガイドラインを意識しながら、日々のプログラムを話し合い決めています。	
㉕	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか	6		選択課題の時間を設け、自分で遊びや過ごし方を選択できるよう工夫をしています。	

チェック項目

はい

いいえ

工夫している点

課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標

関係機関や保護者との連携

②6	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか	6		児童発達支援管理責任者が中心となって参加していますが、児童によっては心理士等の専門職員が参加しています。	
②7	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	4	2		現在、該当する児童はいません
②8	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	6		年間計画、行事予定等の変更、下校時間については、保護者の方から情報をいただいておりますが、学校によっては、担任の先生から直接お知らせいただくこともあります。特に気になる児童については、学校と会議行い情報共有を行っています。	
②9	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6		サービス担当者会議で情報共有を行い、相互理解に努めています。	
③0	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6		現在、該当する児童はいませんが、サービス担当者会議等で情報共有することができます。	
③1	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか	5	1	発達障がい者支援センター等のオンライン研修に参加しています。	
③2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか		6		現時点ではありません。
③3	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		6		
③4	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		支援終了後、その日の様子を送迎時に直接お伝えしたり、保護者の方へLINEにてお伝えしています。	
③5	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	2	4		保護者の方から希望があれば対応していきます。

保護者への説明責任等

③6	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		契約時に説明を行っています。	
③7	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか	6		面談の中で児童と保護者の意向をお聞きし、個別支援計画書を作成しています。	
③8	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		個別支援計画書を児童本人と保護者の方と一緒に説明し同意を得ています。	
③9	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	6		保護者の方から希望があれば、家庭訪問または事業所での面談にて、児童発達支援管理責任者と心理担当職員が主となって助言等を行っています。	

チェック項目 はい いいえ 工夫している点

	④0	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか		6		現在、行っておりません。
	④1	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		6	苦情があった時は、苦情解決担当者が迅速かつ適切に対応します。	
	④2	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか		6	えがお新聞（広報誌）を定期的に発行していましたが、児童が増え業務が多くなった為、現在休止中です。保護者の方には、その日の支援内容と様子をLINEにてお伝えしています。	
	④3	個人情報の取扱いに十分留意しているか			個人情報の取り扱いには十分注意しています。	
	④4	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		6	保護者には、LINE、電話等を使用し情報伝達を行っています。	
	④5	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか		6		現在は行っておりません。
非常時等の対応	④6	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		6	マニュアルに沿って研修、訓練を行っています。避難訓練を行った時は、保護者の方へ直接またはLINEにてお知らせしています。	
	④7	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		6	定期的に、火災・地震・浸水・不審者・原発等の避難訓練を行っています。	
	④8	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		6	契約時に保護者の方に確認し、職員間で情報を共有し、必要に応じて研修を行っています。	
	④9	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		6	契約時に保護者の方に確認し、保護者の方からの情報を基に対応しています。	
	⑤0	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか		6	安全計画に沿った研修を行い、安全に十分配慮して支援を行っています。	
	⑤1	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか		6	契約時に説明を行っています。	
	⑤2	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか		6	ヒヤリハット報告書を基に職員間で協議を行い再発防止に努めています。	
	⑤3	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		6	年に1回、研修を行っています。	
	⑤4	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		6	個別支援計画書にて記載しており、児童・保護者の方へ説明し同意を得ています。	